

人権・同和問題啓発標語



比べない
自分らしさを
大切に

～ 2024年度 宝同協入選作品 ～

ひらい人権文化 センターだより

一 発 行

宝塚市立ひらい人権文化センター

宝塚市平井6丁目3番38号

電話：88-2795

ファックス：88-2774

ひらいじんけん



令和7年度(2025年度)

ひらい解放文化祭

「解放文化祭」は、さまざまな人権課題に焦点をあて、差別・偏見からの『解放』を目指して開催しています。みなさまぜひ、お越しください。

7日(金)

11月7日(金) 9:00～21:00

11月8日(土) 9:00～19:00

- ◆中筋出前児童館
- ◆ひらいおはなし会
- ◆平井保育所和太鼓演奏ほか
- ◆人権・同和問題講演会

講師：柴原 浩嗣さん

演題：わたしからはじまる
部落問題

会場

ひらい人権文化センター

主催

ひらい解放文化祭実行委員会

他の人権文化センター文化祭のご案内

☆くらんど人権文化センター 10月23日(木)・24日(金)

☆まいたに人権文化センター 11月6日(木)・7日(金)

8日(土)

- ◆平井出前児童館
- ◆南ひばりガ丘中学校
有志による発表
- ◆わくわく学級生発表
演題：宮沢賢治作
「いちじくの実」
- ◆子ども人権紙芝居
演者：おきゅん
- ◆絵てがみ教室 ほか

令和7年度

ひらい体験型人権学習会 (姫路市平和資料館・兵庫県立歴史博物館)

7月24日(木)に、小学生と中学生24名とその保護者3名、合計27名の参加者と学校の先生9名、センター職員等を含め総勢42名で、姫路市平和資料館と兵庫県立歴史博物館を訪れました。

姫路市平和資料館では、講話と施設を見学しました。講話は施設職員の方より「平和ってどんなことだと思いますか」という問いかけから、平和とは何だろうと考えながら戦争の悲惨さや怖さについてお話をいただきました。姫路のまちが二度の空襲によって焼け野原となるが奇跡的に生き残る姫路城の姿、空襲で落とされた収束焼夷弾の仕組みや終戦までの国民の厳しい生活などのお話をいただきました。施設の見学は、ジオラマの展示を通して、空襲や当時の生活の様子を知ることができ、また映像、音響、振動などによる空襲疑似体験装置で空襲の恐ろしさを疑似体験しました。そして手柄山中央公園内にある武器のシンボルである剣を地中に突き刺した形で「もう戦争はしない・戦争という名の剣は二度と抜かない」という未来に向けて二度と戦争はしませんという誓いを表現している慰霊塔を見学し平和の尊さを学びました。

みんなで、お昼のお弁当を食べた後、兵庫県立歴史博物館に行って戦後の復興と平和への願いを象徴する姫路城を一望し、その模型やその他の資料を自分たちの目で見て歴史を学びました。

